

高度な専門知識で社内外の信頼を獲得し 新たな可能性を広げてくれました。



株式会社 Kobot
代表取締役 今坂 幸介さん

01

有給インターンシップを知ったきっかけは何ですか？

私たちは千葉で会社を立ち上げましたが、北九州市から企業誘致の話を受けた際に九州工業大学（九工大）との繋がりができ、戸畑キャンパス内のGYMLABOに本社を移転しました。有給インターンシップ制度も北九州市ロボット・DX推進センターから紹介を受けて、ぜひに！と募集をかけました。九工大の産学連携の取組みを、応援したい気持ちもあったからです。

02

有給インターンシップに申し込んだ目的を教えてください

福岡でロボットを活用した自動化案件が立ち上がり、スタートアップ企業として直ぐにでも技術力ある学生の力を借りたいと思いました。また、学生に実践的な学びの場を提供し、実社会で活躍できる技術者を育成するという企業の社会貢献の意味合いもありました。受入後、インターンシップ生には、直ぐに現場の仕事に携わってもらうので、仕事と大学での研究の違いを知る良い経験になっていると思います。



03

インターンシップ生を受け入れた感想をお聞かせください

九工大生はROSの知識等高度な専門知識があるので、大手企業の技術者とも直接連携を図り、時には私たちを強力にサポートしてくれます。得意先と強い信頼関係を構築することができ、事業が大きく前進しました。彼らの探究心やチャレンジ精神が、私たちの新規事業の大きな弾みになっていることを実感しています。

04

この制度を活用して得られた成果はありますか？

情報工学を専攻する学生が、私たちのインターンシップを通してロボットへの関心を高めていきました。また、ロボット操作に関する専門的な知識を持った学生がプロジェクトに本格的に参加することにより、当社の優位性の向上につながりました。

参加学生の声

インターンは時間に対する意識を変えてくれました。限られた時間で一定の成果を求められるので、時間を意識していないと、気づいたら終了時間になることもありました。学生生活に無い緊張感と、その分の成長を与えてくれる場だと思います。

生命体工学研究科 博士後期課程
生命体工学専攻 2年



Student's voice

Company overview

株式会社 Kobot <https://kobot.co.jp/>

代表取締役：今坂 幸介
〒804-0015
福岡県北九州市戸畑区仙水町 1-1GYMLABO 内



私たちは、ロボット開発およびFA(ファクトリーオートメーション)分野において、先進的な制御技術を核とした装置や部品の開発、設計、製造、販売、さらには保守運用までを一貫して提供しています。また、関連するコンサルティングサービスを通じて、革新を続ける技術環境に適応しながら、次世代ロボット技術の創出に取り組んでいます。日本の技術力をさらに高めるべく、産学連携や企業との協働を積極的に推進し、人材育成にも注力。多様なパートナーとともに、未来の産業基盤を支えるロボティクス技術の進化を追求しています。

